

< 相談支援部会：平成 22 年度事業計画の実績と評価 >

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備

患者必携の配布や内容の見直し、相談支援センターのチラシを作成・配布する。

- 7月中旬に3拠点病院（県立中部病院、那覇市立病院、琉大病院）相談支援センターの案内ポスター、チラシ、リーフレットを作成し、3拠点病院と北部地区医師会病院（平成21年度がん診療連携拠点病院）へ配布した。
インターネットを利用した患者・がん相談支援員実務者向けがん情報を発信する。協議会ホームページにて各拠点病院ホームページ及びがん情報（「アスベスト関係の相談窓口集」等）のリンク先を追加する。
- 協議会ホームページにて各拠点病院及びがん情報に関する情報のリンク先を追加した。
- がん患者必携：「地域の療養情報」改訂版の作成にあたり、現在沖縄県と協力し情報収集をおこなっている。

評価： 8点

次年度：次年度も引き続き継続する

2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備

5大がん地域連携クリティカルパスの始動にあたり、地域ネットワーク部会と連携し各医療機関の診療体制等について情報収集を行う。

- 那覇市立病院が作成した「がんに関する医療機関情報調査表」を参考に、依頼文および調査票を作成。第3回沖縄がん診療連携協議会にて、沖縄県および沖縄県医師会からも調査実施の承諾を得た。

評価： 5点

次年度：次年度も引き続き継続する

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備

がん相談支援員実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する。

- がん相談支援員実務者を対象とした「がん相談支援員実務者研修会」を4月、5月、7月、10月に開催した。

評価： 8点

次年度：次年度も引き続き継続する

4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備

現在、がん診療を行っている医療機関（33医療機関）へ依頼し、医師を対象としたセカンドオピニオンアンケート調査を行う。

- 平成22年11月に、がん診療を行っている医療機関33施設（3拠点病院1支援病院を除く）へアンケート調査を実施した。そのうち、22医療機関より回収され、集計

を行なっている。

各拠点病院ホームページのセカンドオピニオン担当医師リストを更新した。

評価： 8点

次年度：次年度も引き続き継続する

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

拠点病院やがん診療支援病院及びがん診療を行っている病院にて共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

- 緩和ケア部会と連携し、「緩和ケア情報シート」を作成した。現在、オリブ山病院、アドベンチストメディカルセンター、南部病院、沖縄病院の4医療機関にて活用している。

がん診療支援病院制度、常勤MSWの配置について沖縄県に提言及び支援を求める。

- 沖縄県がん対策アクションプランにて、「がん相談支援室の環境整備・人材育成」について提言済。

評価： 8点

次年度：次年度も引き続き継続する

6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備

がん相談支援員実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する。

- 未実施

評価： 1点

次年度：次年度も引き続き継続する

7.(その他相談支援に関すること)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載やリンクを提案する。

- 協議会ホームページのリニューアルに伴い、各患者団体について、患者会紹介シートを掲載した。

各拠点病院における医療職・看護職へピアサポートの普及啓発を図る。

- 平成22年11月に那覇市立病院の職員を対象に「患者・家族会に関するアンケート調査」を実施した。

垣根を越えたがん種別患者会連合会結成への支援と沖縄県からの支援を求める(県内各福祉保健所の会場提供・広報等)

- 平成22年8月より、中部福祉保健所で「がん患者会連合会」行事を定期開催可能となった。

評価： 8点

次年度：次年度も引き続き継続する

平成 22 年度第 6 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 22 年 10 月 22 日（金） 15：00～17：00
 場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
 出席者： 4 名 玉城徳正（患者遺族） 金城尚美（沖縄県立中部病院）
 樋口美智子（那覇市立病院） 西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）
 欠席者： 5 名 田名勉（友声会：患者） 崎浜海里（マインドケアおきなわ）
 山川宗貞、（沖縄県医務課） 仲村実和子（北部地区医師会病院）
 増田昌人（琉球大学医学部附属病院）
 陪席者： 2 名 前川守秀（沖縄県医務課） 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 5 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（8、9月）

資料 2 - 2、2 - 3、2 - 4 に基づき、8 月、9 月に各拠点病院にて開催された患者サロン及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。

2. がん相談件数

資料 3 に基づき、樋口部会長より 8 月、9 月のがん相談件数について報告があった。

	8 月	9 月
北部地区医師会病院	未報告	未報告
沖縄県立中部病院	8 件	10 件
那覇市立病院	3 件	4 件
琉大病院	25 件	30 件

3. 第 4 回がん相談支援員実務者研修会実施報告書について

資料 4 に基づき 10 月 14 日（水）に琉球大学医学部臨床研究棟大学院セミナー室にて開催された「第 4 回がん相談支援員実務者研修会」について、西田委員より報告があった。当日は、症例検討会や「看取りの時期にできること」と題し、棚原陽子看護師（琉大病院緩和ケア認定看護師）による講演会が行われた。参加者は 28 人であった。

4. その他

玉城委員より、今月末にぴんくばんさあ（乳がん患者会）の患者サロン「ぴんくばんさあリボンズハウス」が開設されることが報告された。また、他にも飲料品販売企業と提携し、ピンク自動販売機を設置し、購入した一部が寄付されるシステム等も導入している。

【協議事項】

1. 「がん患者必携 地域療養情報改訂版」の今後の見通しについて

資料5に基づき、現在改訂版を作成中である患者必携「地域の療養情報」について、再度内容の精査が行われた。また、今後どのような形で患者さんへ配布を行なうのか、拠点病院としての取り組む体制、また来年以降も継続的に配布していくのか等、今後の方針や各医療機関への普及方法などが検討された。

2. 平成22年度相談支援部会事業計画について

資料6に基づき、今年度事業計画の進捗状況について確認が行われた。取り組みの優先順位としては、先ずセカンドオピニオンアンケート調査と、各医療機関の診療体制に関するアンケート調査を優先に行う事が確認された。また、事業計画である、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」についての研修会は、年内開催を目標に進めていくことが検討された。(候補場所：大浜第二病院)

3. セカンドオピニオンアンケートについて

資料7に基づき、11月15～30日を調査期間目標として、セカンドオピニオンアンケート調査を拠点病院を除く29医療機関の常勤医師を対象に実施することが承認された。依頼は、那覇市立病院、中部病院、琉大病院で以下の様に分担することとなった。

中部病院	県立北部病院、もとぶ野毛病院、海邦病院、宜野湾記念病院、沖縄病院、中頭病院、中部協同病院、中部徳洲会病院
那覇市立病院	ハートライフ病院、沖縄赤十字病院、沖縄セントラル病院、大原病院、おもろまちメディカルセンター、大浜第一病院、浦添総合病院、同仁病院、嶺井第一病院、沖縄協同病院、オリブ山病院
琉大病院	南部病院、豊見城中央病院、与那原中央病院、南部医療センター・こども医療センター、アドベンチストメディカルセンター、南部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、県立宮古病院、石垣島徳洲会病院、県立八重山病院、

4. 県内の医療機関における診療体制についてのアンケート調査について

資料8に基づき、県内の医療機関に対して診療体制についてのアンケート調査を行なう事が承認された。調査については、沖縄県がん診療連会協議会からも沖縄県、沖縄県医師会へ要望する様、11月19日(金)に開催される第3回がん診療連携協議会審議事項へ挙げる事となった。

5. 次回の部会日程

11月16日(火)を有力候補として調整し、後日事務担当より連絡されることが承認された。

平成 22 年度第 7 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 22 年 11 月 16 日（火） 16：00～17：00
 場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
 出席者： 6 名 田名勉（友声会：患者）、玉城徳正（患者遺族）、
 金城尚美（沖縄県立中部病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、
 増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、
 西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）
 欠席者： 3 名 崎浜海里（マインドケアおきなわ）、
 山川宗貞、（沖縄県医務課）、仲村実和子（北部地区医師会病院）
 陪席者： 2 名 儀間多美子（沖縄タイムス）、城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 6 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（10月）

資料 2 - 3、2 - 4 に基づき、10月に各拠点病院にて開催された患者サロン及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。

2. がん相談件数

資料 3 に基づき、樋口部会長より 10 月のがん相談件数について報告があった。

10月（院外相談件数）

北部地区医師会病院	未報告
沖縄県立中部病院	未報告
那覇市立病院	院外件数未報告
琉大病院	13件

3. 第 2 回患者必携渡邊班会議報告書

資料 4 に基づき、西田委員より渡邊班会議での今後の患者必携の方針について説明があった。主な内容として、患者必携はこれまでがんと診断された患者さんへ無償で配布される予定だったが、無償ではなく 1 月より有償で全国の書店にて販売を予定していることが明らかとなった。大幅な変更があったため、各拠点病院でもその後の対応について事前に周知を図る必要があるとの報告があった。

4. 沖縄県内の医療機関における診療体制のアンケート調査依頼について

資料 5 に基づき、医療機関情報調査については、がん医療をおこなっている医療機関（診療所を含む）を対象に行なうことや、がん診療連携協議会の審議事項に取上げ、沖縄県、沖縄県医師会へ協力依頼を呼び掛けることが全会一致で承認された。

【協議事項】

1. 新部会委員の選出について

増田委員より、新たに医療者の立場として相談支援部会委員を追加してはどうかとの意見が挙がり、拠点病院以外の医療機関より推薦人がいないかどうか、検討することとなった。

2. 患者必携「地域の療養情報」改訂版製作における業務分担と今後の方針（配布方法等）医療機関への普及について

資料6に基づき、地域の療養情報（改訂版）製作における業務分担が行われ以下のように承認された。尚、製作期限については、編集・印刷作業を含め2月末までとする。

f P4～5・・・組織図 がん政策部会の追加と各部会の事業内容の確認

担当者：琉大病院

P6・・・支援病院（北部地区医師会、八重山病院、宮古病院）の説明について

担当者：沖縄県

7・・・支援病院も地図に追加

担当者：沖縄県 琉大病院

8・・・放射線治療の記載について、

担当者：琉大病院（放射線科 戸板先生に依頼）

9・・・セカンドオピニオンの受信方法についての説明文 目安となる金額の説明（相談支援センターとは？の説明文の追加）

担当者：中部病院

10・・・北部地区医師会の連絡先削除と支援病院相談室の連絡先掲載について

担当者：沖縄県、琉大病院

11・・・経済的負担と支援について がんになったら手にとるガイド参照(P64～105)

担当者：沖縄県、県立中部病院、那覇市立病院

治療や通院、療養生活に必要なお金の負担の事も、心配の一つです。医療費の負担を軽くする仕組み、公的な助成や支援制度について説明します。

◇ 医療費や生活費など経済的なことが心配

■ 医療費の費用負担を軽くする制度

高額療養費制度

小児慢性特定疾患医療費助成制度

重度障害者（児）医療費助成制度

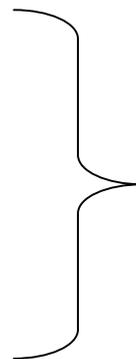
■ 介護費用と合わせて経済的負担を減らす制度

院

高額医療・高額介護合算制度

医療費控除

傷病手当金



～ 担当 中部病

■ 経済的負担を減らす制度（収入が少ない場合の医療費などの助成）

ひとり親家庭等医療費助成

限度額適応・標準負担額減額認定

生活保護

■ 医療費や生活資金等を

生活福祉資金貸付制度

■ 年金等からの支給

障害年金（基礎年金・障害厚生年金・障害共済年金）

障害手当金（厚生年金） 障害一時金（共済年金）

高額介護・高額介護予防サービス費

身体障害者手帳

日常生活・在宅療養を支える機器の貸し出しについての相談

～ 担当 那覇市立

P26~28・・・医療ソーシャルワーカー設置病院一覧

担当者：那覇市立病院

P29~35・・・在宅療養支援診療所

担当者：沖縄県

P36~41・・・介護保険サービスについて

担当者：中部病院

P43・・・ファミリーサポートセンターについて

担当者：那覇市立病院

P44・・・ファミリーハウス

担当者：那覇市立病院

P45・・・緩和ケアについて（緩和ケアについての説明文を追加する：患者必携 P152 参照）

担当者：中部病院

新たに追加する項目

訪問看護ステーション

担当者：中部病院

福祉介護タクシー

担当者：琉大病院

沖縄国際民間救急サービス

担当者：琉大病院

心のケア

担当者：那覇市立病院

患者会リスト（沖縄県がん患者連合会、その他患者会）

担当者：田名さん 玉城さん 崎浜さん

（12月9日役員会にて話合）

患者必携サポートセンター窓口

担当者：琉大病院

沖縄県がん診療連携支援病院の説明文

担当者：沖縄県

内容については、沖縄がん患者ゆんたく会患者会の方にも意見聴衆し、反映させていくことが承認された。また、上記に関しては、次回の部会までに、がんセンター西田、城間まで情報提供することとする。

3.. 次回の部会日程

12月14日(火)15時~ がんセンターにて開催されることが承認された。

平成 22 年度第 8 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 22 年 12 月 14 日（火） 15：00～17：00
 場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
 出席者： 6 名 田名勉（友声会：患者）、玉城徳正（患者遺族）、
 金城尚美（沖縄県立中部病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、
 増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、
 西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）
 欠席者： 3 名 崎浜海里（マインドケアおきなわ）、
 山川宗貞、（沖縄県医務課）、仲村実和子（北部地区医師会病院）
 陪席者： 1 名 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 7 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（11月）

資料 2 - 2、2 - 3 2 - 4、に基づき、11月に各拠点病院にて開催された患者サロン及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。

2. がん相談件数

資料 3 に基づき、樋口部会長より 11 月のがん相談件数について報告があった。

	11月
北部地区医師会病院	未報告
沖縄県立中部病院	未報告
那覇市立病院	<u>91件</u>
琉大病院	<u>54件</u>

3. 沖縄県に医療機関における診療体制のアンケート調査依頼について

資料 4 に基づき、「がんに関する情報アンケート調査」について、今年度に引き続き次年度実施目標として掲げ、来年 4 月より調査を開始する事が全会一致で承認された。調査機関については、沖縄県の実施する医療機関調査と調整して行なう予定である。

【協議事項】

1. 新部会委員の選出について

前回に引き続き樋口部会長より、新部会委員の選出について、3名の医療者が推薦された。今後は当部会長より、各推薦者医療機関へ委嘱依頼する予定である。

2. 患者必携「地域の療養情報」改訂版製作における進捗状況について

資料5に基づき、西田委員より、地域の療養情報（改訂版）製作において、現在までの進捗状況が説明された。その中で、追加としてがん診療連携支援病院相談支援センターの連絡先も掲載する事が承認された。

また、その他変更があった場合は、メーリングリスト内にて協議、または次回の部会までに、確認することとなった。

3. 今年度事業計画について

資料6に基づき、昨年度の年間事業計画における進捗状況について確認が行われた。その中で、今年度中に実施できるかどうかを精査し、実施可能な事業に関しては、速やかに対応し、今年度未実施の事業については、次年度へ持ち越しされることが検討された。

現在、予算との兼ねいで、離島圏での研修会や講演会は未開催の状況にあるが、各地域の支援病院と連携して、離島圏で講演会や研修会が開催できる様、各支援病院へ協力依頼する事が承認された。

4. その他

「地域医療再生計画」に基づき各都道府県に設置された地域医療再生基金について、医療事業への要望として患者会事務局の常設場所の確保を要望する事が検討された。また、田名委員より、沖縄県における各医療機関のがん種別手術件数のデータを集計・公表してほしいとの要望があった。

3. 次回の部会日程

平成23年1月18日(火)15時～ がんセンターにて開催されることが承認された。